| 自立活動 | 特別支援学級（自閉症・情緒障害） | 三原市立木原小学校 | 指導者　〇〇　〇〇 |
|---|---|---|---|

単元名

# クイズでみんなを楽しませよう
# ―木原クイズ大会をしようー

**本単元で育成する資質・能力**　　表現力　　自信・主体性・協働性

**１　日　時**　　令和６年９月１０日（火）　第５校時

**２　学　年**　　略

**３　単元のデザイン**

| （１）単元について | （２）児童について |
|---|---|
| 本単元は、特別支援学校学習指導要領第６章自立活動の内容「２　心理的な安定（１）情緒の安定に関すること」、「３　人間関係の形成（１）他者とのかかわりの基礎に関すること」、「６　コミュニケーション（２）言語の受容と表出に関すること」を扱うものである。達成経験を味わわせたり、場面に応じた言葉遣いや声の大きさを考えさせたりする活動の中で望ましい人間関係の形成や、コミュニケーション能力の促進を図ることで自らへの自信を高めていく。<br>（略）<br><br>本単元では、木原小学校のことのみならず、木原町の特産物や海の生き物について学んだこと、海の環境について学んだこと等も活用しながら木原クイズを作成する。作成したクイズを学級で披露したり、それぞれが作成したクイズを１つにまとめ、他の児童に披露したりする活動の中で、コミュニケーション能力の育成を図りたい。また、達成経験を味わわせることで自信をつけさせたい。<br>なお、本単元は、<br>（略）<br><br>教科横断的に進めていくことができる単元である。 | （略） |

**（３）指導の手立て**

本単元の指導に当たっては、活動のゴールを２段階で設定する工夫を行っている。段階を踏んで活動に取り組むことで達成感や自信を持ちながら、活動に参加することができる。そこで次のように工夫する。

①「相手を楽しませること」、「自分も楽しめること」を１つ目のゴールとして設定している。相手に楽しんでもらったり、自分も楽しんだりするためにはどうすればいいのかという相手意識を持って活動できるように声掛け等の支援を行う。

②「みんなを楽しませること」を２つ目のゴールとして設定している。１つ目の活動では、それぞれが作ったクイズを参考に、話し合いながら１つのクイズにまとめ、みんなの前で発表を行う中でコミュニケーションや合意形成の力を育んでいく。

また、指導者が児童の言動や行動を見取り、その意味や価値について言語化することで、児童が自らへの自信を付けたり、活動への意欲が持てるようにする。

| （４）単元の目標 |
|---|
| ○楽しんで活動することができる。（心理的な安定）<br>○相手が楽しめるようなクイズを考えたり、協力してクイズ大会を企画したりすることができる。（人間関係の形成）<br>○丁寧な言葉遣いや場に応じた声の大きさ等、場面にふさわしい表現方法で伝えることができる。<br>（コミュニケーション） |

（５）単元の評価規準

| | 心理的な安定 | 人間関係の形成 | コミュニケーション |
|---|---|---|---|
| | | | |
| | | | |

（６）児童に示す姿（重点として育てたい資質・能力を支える役割を持つものとして、６つの区分から２つを設定する。）

| | 人間関係の形成 | コミュニケーション |
|---|---|---|
| | | |
| | | |

## ４　指導計画（全６時間　本時 ３／６）

| 時数 | 学習活動 | 評価規準（評価の方法） | |
|---|---|---|---|
| 第１次 | 木原クイズ大会を開さいしよう<br>クイズ大会の計画を立てよう！<br>○木原の町や木原小について、クイズになりそうなものを様々な手段（インターネット、本、話合い）でさがす。<br>○発表の持ち時間は１人５～１０分程度や、クイズの答えがわかっても言わないなどクイズ大会のルールを決める。<br>木原はわけぎをたくさん育てているよ。大鯨島も素敵だな。 | 意欲的に学級のクイズ大会に向けての計画を立てることができる。（行動観察・発言） | 意欲的に学級のクイズ大会に向けての計画を立てることができる。（行動観察・発言） |
| 第２次 | 木原クイズを作ろう！<br>○chromebook を活用して情報を集めたり、校内を探索して写真を撮ったりしてクイズを作成する。<br>**紙とデジタルの選択**<br>**紙：クイズを書く　デ：Google スライドでクイズを作成する**<br>○クイズ大会の目標を決める。<br>木原のよさやいいところを伝えることができるといいな。<br>相手に楽しいと思ってもらえるクイズを作りたいな。 | 相手に楽しんでもらうために、よりよいクイズを作ろうとしている。（行動観察） | 相手に楽しんでもらうために、よりよいクイズを作ろうとしている。（行動観察） |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 第3次 | 第１回木原クイズ大会をしよう！（本時 3/6 ）<br>〇児童が中心となってクイズ大会を進行していく。<br>〇自分の考えたクイズを出題する。<br>〇このクイズをもっと良いものにして全校の前で発表したい！<br>みんなが楽しめるようなくふうはできないかな。<br>このクイズは全校の前でも出したいよ。 | 自分も楽しんだり、みんなを楽しませたりするために、協力して活動することができる。（行動観察・ワークシート・発言） | 自分も楽しんだり、みんなを楽しませたりするために、協力して活動することができる。（行動観察・ワークシート・発言） |
| 第4・5次 | 第２回木原クイズ大会の計画を立てて、準備しよう！<br>〇第１回の木原クイズ大会でそれぞれが使ったクイズを協力して一つにまとめる。<br>**紙とデジタルの選択**<br>**紙：クイズを書く　デ：Google スライドでクイズを作成する**<br>〇完成したら一度予行練習をして、その様子を録画する。<br>〇録画を確認しながら木原クイズを完成させていく。<br>クイズを出して、答えを言うまでにもう少し考える時間があったほうがいいよ。<br>このクイズの写真は遠くでみるとわかりにくいから変えたほうがいいと思うよ。 | クイズ大会（全校）に向けて、話し合いながら活動に取り組んでいる。（発言・行動観察）<br>録画を確認し、改善点や改善方法を相手に伝えられる。（発言） | クイズ大会（全校）に向けて、話し合いながら活動に取り組んでいる。（発言・行動観察） |
| 朝会 | 第２回木原クイズ大会をしよう！<br>〇児童が中心となって進行していく。<br>〇朝会の時間に木原クイズ大会を行う。<br>〇録画して振り返りの際に見直せるようにしておく。 | 前に出て大きな声でクイズを出題している。（行動観察） | 間の取り方を意識してクイズを出題している。（行動観察） |
| 第6次 | 学習のまとめ、振り返りをする。<br>〇２回の木原クイズ大会を振り返って、自分の頑張りを書く。<br>〇児童同士で相互評価を行ったり、担任が肯定的な評価を行ったりすることで他者への関心や自己肯定感を高める。 | 自分や友達の頑張りや振り返り、その理由を文章に表すことができる。（R80） | 自分や友達の頑張りや振り返り、その理由を伝えることができる。（発言） |

## ５　本時の学習 【３／６】

### （１）本時の目標

**・相手を楽しませるために、協力してクイズ大会を行うことができる。**

| | 人間関係の形成 | コミュニケーション |
|---|---|---|
| | | |
| | | |

### （２）準備物

出題するクイズ（クロームブックまたは紙）、発表カード（台本）、ワークシート

### （３）他教科との関連

・国語科の学習での文章に合った述語の形を選択する力を活用する。
・国語科の学習での立場を明確にして発表する力を活用する。
・総合的な学習の時間の学習で調べたことを活用する。

### （４）本時の評価規準

| | 人間関係の形成 | コミュニケーション |
|---|---|---|
| | | |
| | | |

### （５）学習展開

| 学習過程 | 学習活動 | 指導上の留意事項（・）<br>児童への支援の手立て（〇）<br>ファシリテートの重点について【項目】 | ☆評価規準<br>（評価方法） | |
|---|---|---|---|---|
| 課題把握 | １　前時までの学習を振り返る。 | ・「なぜ木原クイズ大会をするのか」や「木原クイズ大会をしてみんなにどんな気持ちになってほしいか」を確認する。<br>〇本時の流れを掲示しておく。【Ｉ－③】 | 人①・コ④<br>（発言） | 人①<br>（発言） |
| | 第１回木原クイズ大会をしよう！ | | | |
| | ２　クイズ大会のルールを確認する。 | ・本時の学習の目指す姿に沿って、学習の場ということを意識させるとともに、「自分が楽しむこと」、「みんなに楽しんでもらうこと」が目標であることを確認する。【Ｉ－②】<br>・第１次で考えたクイズ大会のルールを掲示し、各自で確認できるようにしておく。<br>〇黒板の情報量が増えないように、掲示等は最小限に努める。 | 人①<br>（行動観察） | 人①<br>（行動観察） |
| 自力解決 | ３　先生方へ参加を依頼する。 | ・言葉遣いに気をつけながら、先生方へクイズ大会の参加を依頼する。<br>〇各々に台本を用意することで、主体的に活動に参加できるようにする。 | コ①<br>（発言） | コ①<br>（発言） |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 集団解決 | 4　クイズ大会をする。<br>・クイズ大会の準備をする。 | ・クイズ大会は、児童が中心となって進めていく。【Ⅲ－①】<br>（仕事）進行と時間管理を分担して行う。【Ⅲ－②】<br>・クイズが終わったら、回答者はクイズのよかった点などを述べる。【Ⅲ－④】<br>〇発表できるように視点を与える。<br>（内容・見やすさ・間の取り方・目線など）<br>クイズとクイズの間の時間がちょうどよかったよ。<br>文字が大きくて見やすかったよ。 | 人②・コ③<br>（行動観察・発言） | 人②・コ③<br>（行動観察・発言） |
| 価値の深化 | 5　学習の振り返りをする。<br>・参加者からの感想を聞き、達成感や自己肯定感を高める。 | ・ワークシートに目標が達成できたか振り返らせ、頑張った部分や良かった部分をR80で書く。【Ⅳ－③】<br>〇達成できたかについては◎・〇・△から評価を選ぶようにする。記述の部分に関しては聞きとったことを指導者がメモし、それを見て書くことができるようにする。<br>・自分のよいところや発表で工夫したことを伝え合う。【Ⅳ－①】<br>協力してクイズ大会を成功させることができたよ。<br>大きな声で発表できたよ。 | 人①②・コ②<br>（ワークシート・発言） | 人①②・コ②<br>（ワークシート・発言） |
| | 6　次回の活動を決める。 | ・このクイズをみんなに知ってもらいたいからみんなの前でクイズをしようと提案する。（Ⅳ－②）<br>このクイズをみんなにも紹介するのはどうかな。 | 人①・コ④<br>（行動観察・発言） | 人①<br>（行動観察・発言） |